

受付番号： 2017-1-743

課題名：胸部下行・胸腹部大動脈瘤手術による対麻痺予防のための、術中選択的
肋間動脈冷却血液還流の調査研究

1. 研究の対象

2011年1月～2017年10月に当院で胸部下行・胸腹部大動脈瘤に対し人工血管置換術を施行した症例

2. 研究期間

2017年11月（倫理委員会承認後）～2022年10月

3. 研究目的

胸部下行・胸腹部大動脈瘤手術は未だに侵襲の大きな手術であり、医学の進歩の著しい昨今においても様々な合併症を生じる可能性がある。中でも脊髄の血流不足による対麻痺（下肢の運動麻痺）は、術後の患者、またそのご家族の生活に大きな影響を与える合併症であり、様々な予防策が講じられている。当院では、その予防策として術中選択的肋間動脈冷却血液還流を行っており、本研究では、その効果を調査、解析し結果を広く発信する事である。

4. 研究方法

後ろむき研究

5. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、生年月日、イニシャル、病歴、治療歴、術前術後 CT 所見、術中管理情報、術式、合併症の有無など

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒980-8574

宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号

東北大学病院心臓血管外科

TEL 022-717-7222

研究責任者：東北大学大学院医学系研究科心臓血管外科学分野 教授 齋木佳克

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場

合

- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合